

ADCA青年会議勉強会「令和7年度第1回農業・農村開発に係る若手実務者意見交換会」

【日 時】2026年2月24日（火）15時30分～17時00分

【場 所】農業土木会館における対面形式

【出席者】ADCA 会員を中心とした開発コンサルタント計11名

参加要件：40代までのコンサルタント

【テーマ】若手コンサルタントのお悩み共有

【期待される成果】

海外業務を実施していくに当たっての悩み・課題を共有することによって、抱えている問題を整理し、その原因や解決策等を話し合うことで今後の業務改善および継続的なキャリア形成に繋げる。また、問題意識や知見を共有し、相互理解をすることで、参加者の親交を深める。

【概 要】

本意見交換会は、下記プログラムに沿って実施された。

時間	内容
15:30 ～15:35（5分）	意見交換会の趣旨&意見交換手順の説明
グループワーク開始：各グループ3~4名程度にグループ分けし（3グループ）実施。	
15:35 ～15:40（5分）	自己紹介
15:40 ～16:30（50分）	1名ずつ、これまでの業務、立場、それに対する悩み、課題等を発表、共有する。それに対して、その他のメンバーが自分の経験談、解決策等を話す。悩みや課題は業務内容に限らずキャリアプランやワークライフバランスに関する事等、何でも可。
16:30 ～16:55（25分）	各グループ発表 各グループ1名、悩み、課題とそれに対しグループ内で出た意見等について発表をする。
16:55 ～17:00（5分）	クロージング（総評）

【まとめ】

以下は、各グループで共有された課題と課題の原因や解決策の一部である。

課題	原因・解決策等
業務 出張期間中の体調管理リスク	注意すべき食品や飲食店について事前に情報収集することや、出張経験を積む中で「体調を崩しやすい条件」（例：長時間の車移動で発熱しやすい、辛い物を食べすぎると腹痛を起こす等）を把握しておくことが有効であるとの意見が挙げられた。 また、出張中の心身不調のリスク軽減策として、自分に適した休息方法の見直しや、仕事と休暇の切り替えを意識することが挙げられた。体調に懸念がある場合は、同行する団員へ早めに申し出ることも重要であるとの意見が出た。 一方で、若手実務者は心身の不調を団員へ伝えづ

課題	原因・解決策等
	らい側面があるものの、中堅・ベテランも体調不良を経験しており、理解を得やすい環境であるという認識も共有された。
専門領域における社内相談先の不在	新規技術（例えばデジタルトランスフォーメーション：DX やソフト系）推進を目的として IT 分野を担当する実務者は、社内に専門的な相談先が存在しないため、課題解決のためには自習によって解決策を模索するしかない状況であることが明らかとなった。
学術的専門性の発揮機会が不足し、モチベーションに影響	議論の結果、大学・大学院で習得した学術的知識や調査手法と、実際の顧客が求める調査方法が異なるため、十分に専門性を発揮できないことがモチベーション低下の一因となっていることが共有された。 こうした現状を踏まえつつも、専門性を活かす場面と実務要求とのバランスを取る考え方を共有する必要があるとの意見が出された。
キャリア形成	
出産後のキャリア継続が困難な環境	出産後の実務者のキャリア継続については、加盟企業ごとに対応に差があることが確認された。家庭状況に配慮し、出張を控えてプロポーザル支援・精算業務・研修業務などに集中できる環境を整えている企業もある一方で、専門部署の構造上、同様の配慮が難しい企業も存在することがわかった。

参加者からは、悩みや課題を共有することで自身の抱えている問題を整理でき、さらにその原因や解決策について議論することで有意義な時間となった、との好意的な意見が多数寄せられた。

今後も ADCA 青年会議では、本年度の結果を踏まえつつ、若手コンサルタントが意見交換や交流を行える場を継続して提供していきたい。



グループワークの様子



各グループの発表